

体型で見分ける

捕まえたエビは取りあえず浅いバットやミニ水槽に入れて体型や動きを観察してみる。



スジエビ

トゲナシヌマエビ

ヤマトヌマエビ



上からみると

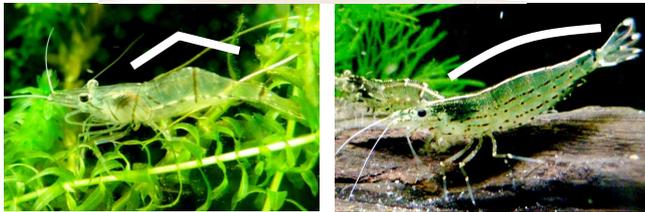
テナガエビ科のスジエビは眼が横に張り出しているの頭が大きく見える。

一方、ヌマエビ科のエビは眼が前方に出ており体型は紡錘形。



どう見えますか？

実はヌカエビでした。全長2cmに満たないような子供の頃は見た目で見分けるのは難しいという例です。



横から見ると

スジエビは第3腹節あたりからの曲がり大きい。他に、ヌマエビ科ヌマエビ属の2種やヒメヌマエビ属のミズレヌマエビが同じ体型です。

ヌマエビ科ヒメヌマエビ属の2種は寸胴で腰の曲がり小さい特徴があります。

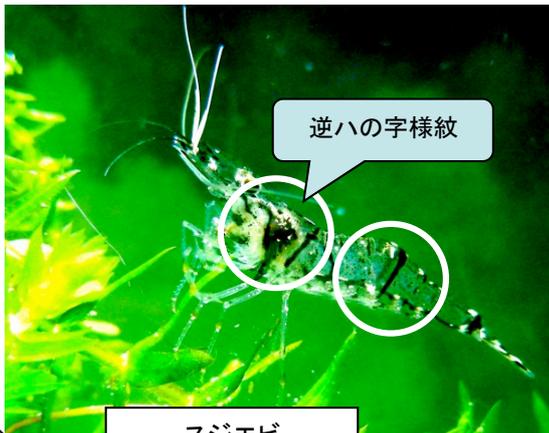
体色や紋様で見分ける

(1) スジエビとテナガエビの見分け方

成体になったテナガエビは第2歩脚が長く大きくなり体色もついて一目でそれとわかるが、若齢の個体の体色は透明でよく見ないとスジエビと見分けが付きません。

スジエビはその名の通り、体節に横縞があること、頭胸甲側面に第3と第4歩脚付近を始点として上に広がる逆ハの字紋様があることなどで見分けることができる。テナガエビの場合は第1、第2歩脚と第5歩脚付近を結ぶ馬蹄に似た紋様がある。m字模様と表現する人もいますが、個体差が大きく明確ではない個体も多い。

判断に困ったら額角をルーペで観察する。



逆ハの字様紋

スジエビ

スジエビの成体は立派な鋏を持っている



テナガエビ成体



馬蹄、m字様紋

テナガエビ